

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分區

帯広東ロータリークラブ会報



ROTARY
SERVING
HUMANITY

2016-2017 年度
帯広東ロータリークラブ

会 長 高 田 進
幹 事 石 川 博 機
メディア委員長 上 野 敏 郎

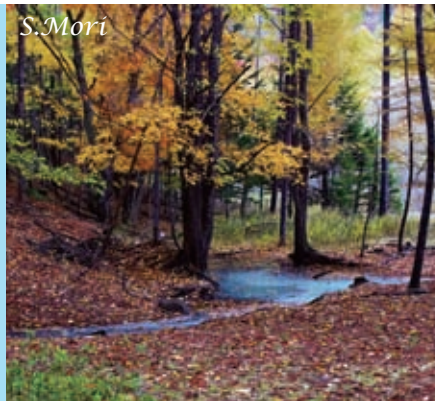
「活 : かつ」

第1541回例会

平成28年11月1日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立: 1984年6月15日 ■認証: 1984年6月18日 ■例会: 毎週火曜日 12:30~13:30
■事務局: 帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場: ホテル日航ノースランド帯広

S.Mori



2016-2017 年度 国際ロータリーテーマ
【人類に奉仕するロータリー】
2016-2017 年度国際ロータリー会長
ジョーンF・ジャーム

ガバナーテーマ
【ロータリーの明日の為に、積極的に行動しよう】
国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー
駒 形 曙 美

月間テーマ
【ロータリー財団月間】

◎起 立	加藤雄樹 SAA
◎友情の握手	加藤雄樹 SAA
◎点 鐘	高田 進 会長
◎開 会 宣 言	加藤雄樹 SAA
◎国 歌 斉 唱	加藤雄樹 SAA

ロータリーソング 「四つのテスト」

11月結婚記念日を迎える会員 古川直也 親睦活動委員長

福岡正雄	会員	昭和25年11月20日
古川 豊	会員	昭和43年11月 5日
佐藤堅一	会員	昭和43年11月27日
齊藤蓮輝	会員	昭和46年11月 6日
宮前克則	会員	昭和51年11月 6日
高田 進	会員	昭和51年11月29日

11月誕生日を迎える会員 古川直也 親睦委員長

神田光則	会員	昭和19年11月 8日
金丸 勝	会員	昭和39年11月25日

◎会 食

会長挨拶 高田 進 会長



今日から、いよいよ、というか、とうとう、というか、11月に入りました。予報では、冬を感じさせる一週間と表現していました。あと、二カ月で今年も終わります。過ぎた時間は早く感じますが、考えてみると、社会的にも個人的にもいろいろあり、記憶に残る一年になるだろうと感じています。

今年度の標語は「活」とさせていただきましたが、昨年辺りから終活という言葉を意識するようになりました。多分、年齢や健康のバックボーンもあると思いますが、最近、今の立ち位置を見渡し、過去を振り返り、今後を考える事が多くなったような気がします。終活とは、2012年流行語大賞で注目され、終焉に向けて行う行動で、残った人たちに迷惑がかからない様、生きているうちに身辺整理を行うという意味と人生の終焉までの今後をよりよく豊かに生きていくための活動と解釈されているようです。他にも、延命治療の意思表示とか、お世話になった伴侶や家族への感謝、遺言等終活目的は色々です。ほとんどの人は、執着心が強く、物欲も強く、多くの欲望を持ち生きてきたと思いますが、死んだときその人の周りの物は、すべてごみになるといわれています。プラスの財産は、金融資産、不動産、企業、人や技術等、多々ありますが、所詮自力で生み出したものではないので、必ずしも残された人たちの幸福を保証するものではありません。むしろ、トラブルにならない様、配慮する責任があります。なるべくなら、自分で作った財産は自分で消費し、奥さんより先に逝くのであればその分迄、責任を負えばいいのかもしれない。

終末期医療に携わる医師は死が近づいた時、多くの人は後悔の念を持つと言っています。興味あるいくつかを挙げると、たとえば、健康を大事にしなかった、タバコを止められなかった、夢がかなわなかった、感情に振り回された一生を過ごした、他人に優しくなれなかった故郷に帰らなかったこと、美味しいものを食べておかなかったこと、会いたい人に会っておかなかったこと、記憶に残る恋愛をしなかったこと、結婚しなかったこと、愛する人に『ありがとう』と伝えなかったこと等。

思い当たる事が多く、複雑な気持ちになります。

最後にアップルの会長の故スティーブ・ジョブズの言葉です。(55歳没)

誰も死にたくない。しかし、死は全員の行先です。死から逃れた人間は一人もいない。それはあるべき姿なのです。

死は多分、生命の最高の発明です。

それは生物を進化させる担い手であり、古いものを取り去り新しいものを生み出す。今、あなた方は新しい存在ですが、いずれは老いて消えゆくのです。

深刻な話で申し訳ないですが、真実です。

いかにもスティーブ・ジョブズらしい言葉です。

以上、挨拶とします。

◎帯広東 R C 11月29日(火)は休会と致します。

◎帯広東 R C 年次総会開催のご案内

日時：平成28年12月6日(火)

午後0時30分(例会時)

場所：ホテル日航ノースランド帯広

委員会報告

会員増強・ロータリー情報委員会 高橋克弘 委員長

皆さんこんにちは。ロータリー情報集会のご案内置かせていただきました。テーマにつきましては、今の帯広東ロータリークラブについてということで、社会奉仕の在り方とかいろいろな面におきまして、会員の何が何を考えているのか現状の問題点だとかあればその中で忌憚のないディスカッションしていただければと考えています。いずれにしても情報集会は結論を出すという会ではございませんので先輩後輩ともいろんな中で意見を交わして親睦を深めていただければと思います。

班長は副班長を指名して日程調整を宜しく願います。

補助関係なのですが今回はとりあえず2,000円助成という形でやらさせていただきます。

11月22日例会時の発表という形になっておりますのでどうかひとつ宜しくお願いします。



ニコニコ献金

親睦活動委員会 及川武一 委員

- **高田会長** メディア委員会の新企画、私の一枚この写真の第1号に載りました。記憶に残る会報になりました。
- **鎌田副会長** 今日のプログラムで卓話です。よろしく願います。
- **板倉会員** ドイツ人留学生が修学旅行に出発しました。
- **神田会員** 誕生日に記念品を頂き有難うございました。
- **齊藤会員** 結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。
- **上野会員** 今日から幼稚園の新しい園児募集が始まりました。おかげ様で目標数は確保できそうです。ニコニコします。
- **加藤(雄)会員** 今年は冬が早く来そうです。タイヤ交換は、お早めに！
- **宮前会員** 結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。
- **高橋会員** 今日のプログラムは、会員増強・ロータリー情報委員会担当です。鎌田副会長に8月の災害時の体験談をお願い致しましたので宜しく願います。
- **古川会員** もう早、11月です。現在、来月の年末家族会の準備中です。楽しい内容になります。奥様のご参加もよろしく！
- **及川会員** 北海道日本ハムファイターズ日本シリーズ優勝おめでとうございます。No.1だいですきです。



【会員卓話】

テーマ：【とまどいの二泊三日】

鎌田 勉 副会長



こんにちは。久しぶりに私の卓話ということでございますが、余り話しが上手でありませぬが話をさせていただきます。

とまどいの二泊三日ということでございますが、8月30日に家内と札幌から帰る途中に5時半頃札幌を出たのですが、途中道東道が側溝の倒壊がありまして不通になったという連絡がありまして占冠を取り合えず出て狩勝峠を通過して帰ってこようと思って来ましてところ、幾寅の道の駅の前に地元の役場の方とか警察官が道の駅の駐車場に誘導していました、そんなに長い時間でないと思ってましたので軽い気持ちで仮眠という意味で駐車場に入ったのですが、7時半頃少し寝ていましたら家内から声がかかって『お父さん水の音がするのだけど』といひまして、ちょっと見ましたら膝くらいまでの所に水がきまして、これはいけないということで辺りは停電で真っ暗でしたけど、避難で誘導された車が約100台近くあったのですが、我先に高いところに移動するというので車が進まなくて、大きな船の後ろに付いていくような波の後ろを走行して空いていた役場の駐車場に駐車しました。

辺りは停電で全く見えない状態でしたが役場だけは非常電源を使ってトイレもいろんな事も全部出来る状況にありました。役場の職員にいろんな状況の話を聞いたのですが全然情報が分からないとのことで、とにかく避難して欲しいとのことで、たまたま道の駅の少し離れたところに町の施設がありまして、テレビ等で皆さんご覧になったと思うのですがそこに大きな施設がありまして、そこはかなり避難していました。私の家内も『お父さんそこ行かない』といわれたのですが一晩だろうからここでいいはということで、そこにとどまったのですが、そこに入った方々は1階に避難した方は1階がだめで2階に再避難をしたという状況でした。車が沢山入っていて車の屋根の上に避難した方もいると聞いてました。朝の5時頃写真を皆様のところにお配りしたのですが、31日の朝の5時過ぎに撮った写真なのですが、その写真を見ていただくとパトカーも浮かんでたり奥の方には富良野から救助にきた消防車等もあるのですが、橋が落橋してまして救助に来れませんでした。開発局に電話をしても状況が分からないということで、いつ開通するかも分からないではどこから帰ったらいいのですかと聞いても、何とも分からないという分からないづくしという話なんです。とにかく食べる物が先だということで、コンビニが2カ所あったのですが1カ所は完全に水没しており、残り1カ所の富良野の方向にセブンイレブンがありまして、そこに行きましたら駐車場も一杯で何とか道路脇に止めといて中に入ったのですが、停電でカップ麺についてはあるのですが使えない、弁当類は全く無かったの

で、私と家内はどうしようもなくしてお菓子を少し買ってそれでしのぎました。

これからどうしようかと皆さん戸惑っていたのですが情報が入ってこないので役場の方も警察官の方も来るのですが分からないづくしで31日は何とか晩方になれば状況が分かるかも知れない、ひょっとしたら狩勝峠も通ることが出来るかも知れないということで待っていたのですが、中々ハッキリとした情報が来なかったのですが、突然夜6時半頃消防団員の方が来まして、7時から2時間だけ富良野に向けての急造の橋が使えるようになったので片側だけ2時間だけ通すということになりましたので、いろいろな話をするのですが消防団員の方はどういうことなのか説明が出来なくてとにかく2時間だけということで、そうなるとうどん数珠つなぎのように車が橋の方に向かって行って、そうこうするうちに落合でも100台くらい止まっていたらしくそちらの方からも来るのです。これだったらいつになるか分からないということで家内とかも困ったと話していたのですが、何だかんだ皆さんと協力して割り込みの無いように交互に出てきたのですが、そこを經由して富良野・旭川を通過して浮島という高規格道路があるのですがそこを經由して丸瀬布・生田原・留辺蘂・陸別・足寄・帯広を經由して帰って来ました。

私が着いたのは9月1日の午前の10時半頃でした。実に7時から札幌を出まして15時間くらい仮眠を2時間位しましたがほとんど疲れが取れなくて9月2日も私は爆睡だったのでした家内についてもかなり疲れたみたいでした。私が思ったのは緊急の災害の時はどこもそうなのでしょうけど私たちも含めて、備えが全然できてないということなのですね。また行政についても全く縦割りで横のつながりが無いので情報が全く入ってこないのですね。ですから一方通行で来る物だけしか私たちには入ってこないで、そこでいろんな方々と会える機会がありましたのでお話をしていたのですが、「これではどうもならないね」という話をしていたのですが、それは個々がいろんなことを想定して対処するしかないと思います。

今回鳥取の方でも大きな地震がありました。災害が最近多いみたいですので私たちもその点については私たちも十分心得をしなければならぬのかと思います。それと同時に家内と小さな車の中で二泊三日で何か気まずいような話題が無いような少しホットする間もありましたけど夫婦の絆を改めたようなことでございました。災害については皆さんに配っております写真を見ていただいてこんなことだったのかそうだったのかと思っていただければと思います。

10月30日に私が10年ほど前に米山の奨学生のミミ君のカウンセラーをしたウンリュウ君からメールが久しぶりにありまして、大変ご無沙汰しているということで彼が今日本で生まれた息子さんオオイ君が小学生の5年生だそうです。それで6年生の卒業を記念して再度日本に来たいという計画を持っているそうです。

彼らの家族は2年間カウンセラーのお手伝いをさせていただいたのですが、とても性格が静かな家族で我々が良く耳にする中国の人たちの気性が荒いようなことが無

い家族でした。沢山思い出があるのですが雪祭りに行ったときにラーメン館という所があってそこでラーメンを食べたのですが、たまたま博多の豚骨ラーメンのスープが美味しいとってスープごと全部食べてまだ足りないという二杯目を食べたような記憶があります。

それと旭山動物園に行ったときに三国峠を通過したのですが、その時の途中の展望台で三国峠から十勝の方を見たときに緑がとっても多くてウンリュウ君の奥さんが感激をしていました。中国では彼らはウイグルの近いところに住んでましてほとんど砂漠が多くてこんなに緑が多いというのにビックリしたと日本でこんなに緑が多いのにビックリしたそうです。

それから彼は6年ほど前に帰国したのですが、その前に農学博士の博士号を取りまして、ちょうど森会長年度の時お祝いをしてあげた記憶がございます。何かプレゼントは無いかと思い家内と話をしまして、彼らは日本で留学生同志で入籍なされて結婚式をしていないということで、和式の結婚の衣裳を着て記念写真を撮ってプレゼントでもしようかと思って写真館で写真を撮ってプレゼントしたらとても喜んでいました。子どもさんも何かはにかんだような表情もあってアットホームだなと、日本の家庭の夫婦と変わらないという印象を強く思っています。

向こうに帰ってから何回か日本に来ているのですが、来るたびに中国の強いお酒をお土産にもってきてくれます。私はお酒の方は余り強いほうでないので機会がありましたら私の所にありますので皆さんにご所望いただいてこういう酒をこの人たちは飲んでいるのかなと思ってもらえたら良いかなと思います。

彼のいる所は甘粛省蘭州なのですこれはシルクロードの中国側の出口に近い所ようです。砂漠に入っていく手前の町だそうです。とっても歴史の古いところで彼のいる蘭州大学というのは学生が1万人を超えてるそうです。教職員も四千人近くいるそうです。それから総合大学ですので中国の中ではかなり古くて上から12~13番目くらいのランクになるそうです。そこで彼らはこちらで学んだ農業の研究をしてた大豆関係を研究しているそうですそれを向こうで頑張っていると思います。

ぜひ皆さんにもシルクロードに行くときには声を掛けていただければ出来るだけの歓迎は出来るかと思っています。皆さんもどうかそういうお話があるのでしたら彼の方にコンタクトをとれる方法がありますのでどうか行ける方行ってあげたら良いかなと思います。

どうか災害については皆さんも最近とても多いようですのでそういう場面についての心構えを少しづつでもなさっていた方がいかなと思っています。お話が余り十分ではありませんでしたが、どうかご了承いただいて卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

◎閉会宣言

加藤 雄樹 S A A

◎点 鐘

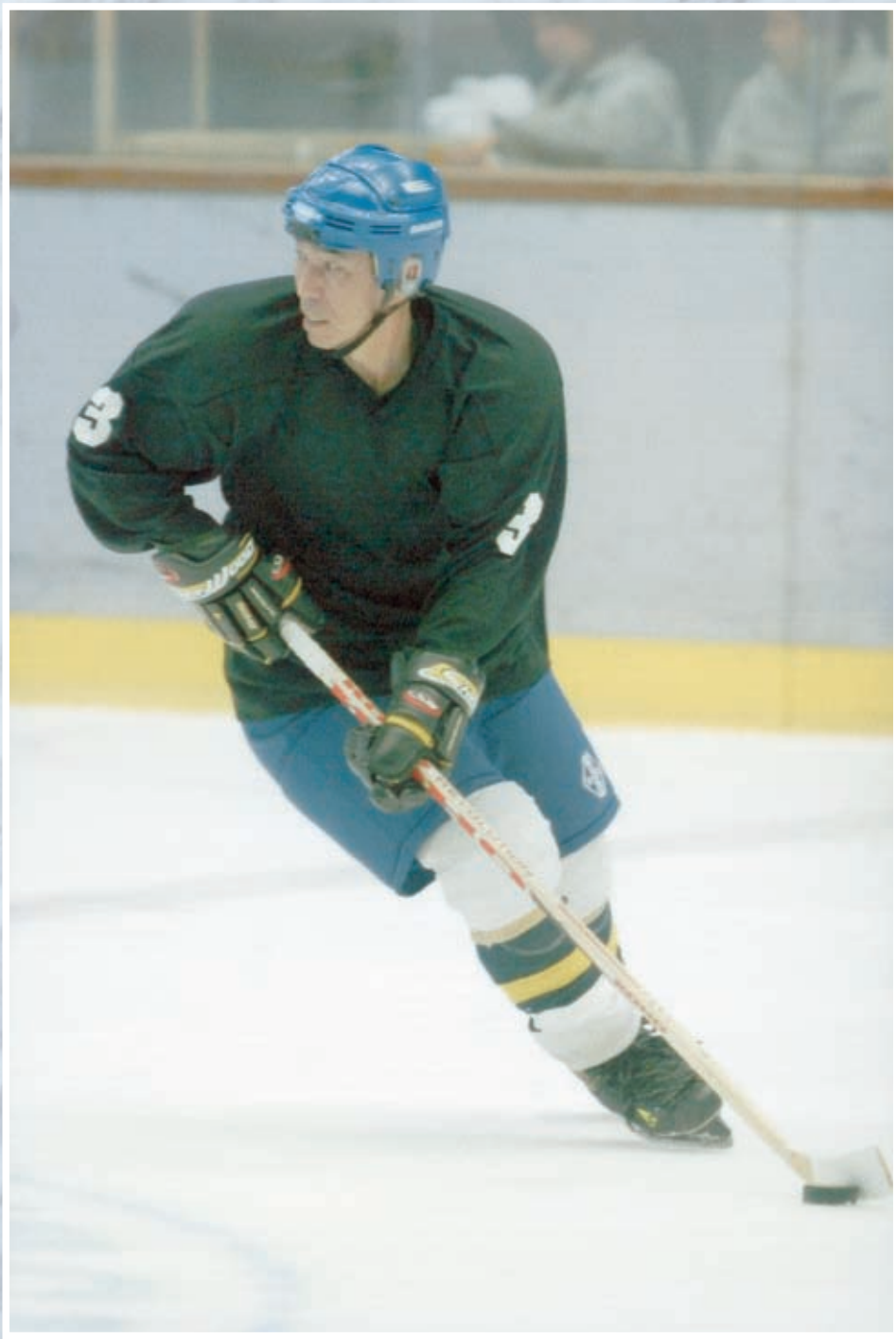
高田 進 会 長

次週プログラム

国際奉仕・ロータリー財団委員会

11月8日(火) 「会員卓話」 加藤 肇 会員

私の一枚・この写真



“昔取った杵柄”そのままの、この勇姿
60代後半の石川博機幹事

メディア委員会より
会員皆様から写真の提供をお願い致します。
風景の写真、思い出の写真など沢山の写真をお待ちしております。